



第28回上田八木・金融政策サーベイ(2019年6月)

発表日：2019年6月18日（火）14：00 上田八木短資株式会社

調査日	2019年6月13日～17日
調査先	186先
回答率	94.6%

(Q1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（6月19日～6月20日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。

	(今回)	(前回4月23日)	変化幅
緩和	2 (構成比%)	1	+1
不変	98	99	▲1
引締	0	0	+0
上田八木・金融政策インデックス (「引締め」-「緩和」構成比%)	▲2	▲1	▲1

(Q2) 3か月先の無担保コールON金利は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月23日)	変化幅
低下	6	1	+5
不変	89	95	▲6
上昇	5	4	+1
短期金利予想DI	▲1	+3	▲4

(Q3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月23日)	変化幅
低下	16	4	+12
不変	78	90	▲12
上昇	6	6	+0
2年国債金利予想DI	▲10	+2	▲12

(Q4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

	(今回)	(前回4月23日)	変化幅
低下	20	6	+14
不変	69	80	▲11
上昇	11	14	▲3
10年国債金利予想DI	▲9	+8	▲17

(Q5) 現状の金融緩和（オーバーシュートコミットメントを含む）からの出口開始時期はいつ頃か。

(ここでの「出口開始時期」はオーバーシュートコミットメントを考慮したもので、例えば消費者物価が4月に目標にワンタッチした後に6か月後にその時期が来ると予想すると「出口開始」は10月という意味です。資産買入れの残高が減っても物価目標を達成していなければ「出口開始」とはみなしません)

	(今回)	(前回4月23日)	変化幅
1. 1年未満	1%	2%	▲1%
2. 1年以上3年未満	51%	56%	▲5%
3. 3年以上	48%	42%	+6%